

～嫌いと苦手～

校長 大迫 誠

春は、進学や就職、転勤・転校など『別れと出会いの季節』と言われる。節目になると人はリセットしようという気持ちから、これまでできなかったことに挑戦しようとする気持ちが芽生えてきます。その際いつも考えていることについてお話しします。

成長を妨げる心理的要因に『嫌い・苦手』というものがあります。ひとくくりにしましたが『嫌い』と『苦手』は似ているようですが違うものです。『嫌い』というのは、ピーマンが嫌い、運動が嫌い、あの人が嫌いというようにそのもの自体を否定し、自分の前にある扉を頑なに閉じて開けることを拒みます。しかし、『苦手』は、ピーマンが苦手、運動が苦手、あの人が苦手というように、扉を開けて何とか努力し取り組んでみた結果、なかなかうまくいかなかった状態だと考えます。でも『苦手を克服する』というように努力や工夫次第で得意になったり、好きになったりすることがあります。

私は、小学生の頃から走ることが嫌いでした。小学校の時は“持久走大会が雨になればいいのに。いや、雨になっても延期になるから自分が風邪を引けばいいのかも！”と真剣に考えたこともありました。(風邪は引こうと思ったら引けないものですが)中学生になると持久走大会の距離が長くなり、一層『嫌いの度合い』が増すかと思っていました。しかし、友達と「中学校を卒業したら高校では専門的な陸上部の人たちが走るのだから、走るのが嫌いではなく、苦手だと思いながら練習してみよう。」と始めました。(実際、高校に進学したら10kmロードレース大会がありました)嫌いなものが早々、苦手になることはありませんでしたが、友達との声の掛け合いなどで、それなりに『苦手』になってきました。そして、30代最後の年に友達と「30代記念にフルマラソンに出よう！」と決め、また練習を始めました。すると、体調もよくなり、『ランナーズハイ』というのでしょうか、苦手がだんだん克服されていく過程を味わってきました。初マラソンは散々でしたが、その後、得意ではなくとも好きになっていき、先日の鹿児島マラソンで37回目の大会に参加しました。

人も同じではないでしょうか。「苦手だと思っていたあの人も何度か話すうちにその人となりを理解できるようになった。」など、努力や多面的な見方で、変わることもあります。『出会いと別れの季節』と言われる春。人と自分を見つめ、自分の中の『嫌い』を『苦手』に変えるチャンスにしてみたいかがでしょう。

# おうほう 3月号

令和5年度 鹿児島市立桜峰小学校学校



3月11日 文部科学省の審議官や、県義務教育課長などICTを使った授業を参観に8名が来校。少し緊張気味の子どもたちでした。



3月1日六年生を送る会で、しおみつさちかさんのキノコダンスを校歌にのせて踊る一年生。



お弁当はやっぱりおいしいね～。



お別れ遠足でもこのフォーメーション！



いつも明るく、前向きで、周りのことを考え、お手本となってくれた六年生の2人。  
卒業前に桜の木を植えました。  
卒業おめでとう。そして今まで頑張る姿を見せ続けてくれてありがとう。



6年生のために「情熱の薔薇」を歌い、ギターをかき鳴らす2年生



♪Bling-Bang-Bang-Born♪と踊る3・4年生

日付	曜日	行事
8	月	新任式・1学期始業式・入学式
9	火	身体計測 入学式片づけ 委員会活動
11	木	NRT2・4・6年 学級PTA PTA新役員会
12	金	NRT2・4・6年
13	土	知能検査2・4・6年 1年生を迎える会
15	月	心臓検診1年 尿検査容器配付 校区内安全点検
16	火	尿検査1次
17	水	尿検査1次予備 体力テスト
18	木	全国学力・学習状況調査6年
19	金	歯科検診
22	月	海の絵を描こう 応援団結団式 集団下校
23	火	内科検診
24	水	避難訓練(地震・津波)
25	木	尿検査(一時予備)
26	金	授業参観 PTA総会 PTA歓迎会(西道公)

4月行事予定